

非核平和の集い

2016年 12月8日(木)

午後 6時30分~8時30分

奈良県文化会館集会室AB

(近鉄奈良駅①出口から東へ徒歩5分)

参加協力費 500円

「未踏の非核思想を求めて」

講師 藤原 辰史准教授

(京都大学人文科学研究所)

原子力爆弾と原子力発電所を拒否する政治を求めるのであれば、強靱な思想が必要です。強靱な思想は、既存の概念を繰り返すだけの運動や机上の学問ではなく、毎日のくらしの悩みや工夫から練り上げられます。拒否するだけでは何もうまれません。

最終兵器が消えたあと見ず知らずの他人と交わる知性、核のゴミを抱えて原発後の世界を暮らす知恵をはっきりと打ち出すために、この講演では、そのための知の準備運動をみなさんと一緒にやってみたいと思います。



講師近影

プロフィール 藤原辰史(ふじはら たつし)

1976年 北海道に生まれ、島根県で育つ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程中途退学。博士(人間・環境学)。東京大学大学院農学生命科学研究科講師を経て、現在は京都大学人間科学研究所准教授。

専攻は環境史、食と農の歴史。主な著書に、『決定版ナチスのキッチン』(共和国 2016 第一回河合隼雄学芸賞)、『稲の大東亜共栄圏』(吉川弘文館 2012)、『カブラの冬』(人文書院 2011)、『ナチス・ドイツの有機農業』(柏書房 2005、新装版、2012 第一回日本ドイツ学会奨励賞)、『大東亜共栄圏の文化建設』(共著、人文書院 2007)、『食の共同体』(共著、ナカニシヤ出版 2008)、『食のこと考えること』(共和国 2014)など。2015年に結成された「自由と平和のための京大有志の会」の発起人のひとり。

主催 非核の政府を求める奈良の会

Tel 0742-26-2457

奈良合同法律事務所気付